

V. 特記事項

我が国で、他大学に先駆けてホスピタリティ精神を教育の根幹におき、ホスピタリティ教育をサービス経営学部並びに看護学部のカリキュラムの中に具現したことが、本学の教育の最大の特色・特長である。ホスピタリティ教育の実像を現すには、第三者からの客観的な声やニーズを示すことが最適と考えるため、ここでは毎年継続的に行われ、地元市民からも評価されている本学の活動について記述する。

1. サヤマ de プロジェクト

狭山市市民会館で東京国際映画祭参加作品の上映会「サヤマ de シネマ」(西武文理大学サヤシネ実行委員会主催、狭山市共催、公益財団法人ユニジャパン(東京国際映画祭主催者)後援)が、毎年開催されている。「サヤマ de シネマ」は、大学ブランド化事業として推し進める「サヤマ de プロジェクト」の一事業。東京国際映画祭事務局の協力を得て実施した上映会には多くの市民が来場され、平成 29(2017)年度の狭山市 10 大ニュースの第 1 位に選ばれた。上映会の実行委員を務めた本学の学生は、狭山市長の新春座談会に招待され、本学の学びの一端を地元の方々に紹介できる良い機会となった。

また、平成 30(2018)年度には、「サヤマ de 結婚式」、「サヤマ de シネマ 2days」の 2 事業が執行され、平成 30(2018)年度の狭山市 10 大ニュースで、「サヤマ de 結婚式」が第 2 位、「サヤマ de シネマ 2days」が第 4 位となり、狭山市から継続実施の要請を受けた。

産官学連携イベントとして学生主体で立ち上げた映画上映会「サヤマ de シネマ」は、その質の高さから市民の好評を得て、令和 2(2020)年度に第 4 回目の開催を予定しており、地域貢献としての成果も確実なものとなっている。

2. ファミリーサッカースクール

平成 23(2011)年から大宮アルディージャとのタイアップにより開催している「ファミリーサッカースクール」は、本学学園祭「ホスピタル」の恒例イベントとなっている。例年 75 組 150 名の参加者を募り、近隣の小学生が親子連れで楽しめるスポーツイベントとして好評を得ている。学園祭で大宮アルディージャのスクールコーチ等とともに、小学 1 年生から 3 年生とその保護者を対象に「BUNRI カップ」を開催しており、これらの企画や運営の全てを、学生が自主的に執り行っている。

3. 狭山市入間川七夕まつり

「狭山市入間川七夕まつり」学生ボランティアは、平成 24(2012)年度に正課外の活動として始まり、平成 27(2015)年度に正課での活動を中心とした体制となった。毎年 100 人規模の参加学生を数え、令和元(2019)年度は履修者以外の参加学生も合わせて延べ 169 人の学生が参加した。

令和元(2019)年度に実施した大学創立 20 周年記念シンポジウムの中で、学長は「地元地域を中心に社会と共生していくとともに、人材育成と教育研究活動を通じて地域の未来に貢献していく」と語り、地域社会に対する本学の姿勢を強く表明した。なお、このシンポジウムの模様は、テレビ埼玉において特別番組として放送された。